

コトハ出来ナイ、ミナラズ正付及動勢カノ據頭
ト云、甚ノ後動ハ能シト有希世実トナツタヤウ
テアリマス

併シテ其ノ國際労働會議ハ何等用ハ無イヤト
云フト決シテ云ウテハナイ、テアツテ次ノ份ニ依リ
コレテ利用シ得ル所ノ價値カナルト思フ、テ
アリマス

第一ニ國際労働會議ニ於テ日本政府ヲ圧迫
スルナレハ多ク、新果ヲ擧ケルニトカ出来ルト思
フ、テアリマス

第二ニ國際労働會議ノ席上カウ會議其物
ノ中實ヲ一般大衆ノ前ニ暴露スル事
第三ニ政府ノ費用ニ依リテ國際労働會議ノ動

一運給ヲ計ル事、斯ウラフ利用ノ莫ラ判ソキ、知ツ
テ我等ノ國際労働會議ニ對スル態度ヲ決メ
ナケレハナラナイト思フ、テアリマス、此ウレシキノ明カナル
總カヲキスハ要カルト同時ニ茲ニ於テ國際労働
會議ニ関スル決議ヲシラシト思ヒマス、茲ニ其
ノ決議ヲ朗讀致シ、之ヲ朗讀シ、以テ決議ニ對シ
對シテ、西場ノ所望ニ成カレハ幸ヒト思ヒマス、(相年記ル)
○安東列強、如後某、以ノ爲メ、レテ居ル國ノ政府
ハ同意セザル權利カアリマス、カ

○投票場、國際労働會議ノ議決事、其
ハ批准シテモ、ヤウニヤウニナツテ居ルサウマス
○某、爲ニ実行、方法カ書イテ、ナイノ、何
ウ云フ、決テス、カ